

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公表番号】特表2006-509766(P2006-509766A)

【公表日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-012

【出願番号】特願2004-555767(P2004-555767)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/60 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

A 6 1 K 31/245 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/60

A 6 1 K 9/70

A 6 1 K 31/167

A 6 1 K 31/245

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/34

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 25/20

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

神経障害性陰性知覚症状を処置するための組成物であって、神経障害性陰性知覚症状を罹患する患者の該陰性知覚症状の部位またはその近くに適用されるのに適切な麻酔薬を含む、組成物。

【請求項2】

前記麻酔薬は、安息香酸誘導体である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記安息香酸誘導体は、ベンゾカイン、プロカイン、テトラカイン、クロロプロカイン、プロポキシカイン、コカイン、プロパラカイン、メピバカイン、ブピバカイン、フェノカイン、ジブカイン、エチドカイン、リドカイン、プリロカインおよびそれらの薬学的に受容可能な塩からなる群より選択される、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

前記安息香酸誘導体は、リドカインである、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

前記リドカインは、パッチ中に含まれる、請求項4に記載の組成物。

## 【請求項 6】

前記パッチは、約 2 % と約 10 % との間のリドカインを含む、請求項 5 に記載の組成物。

## 【請求項 7】

前記パッチは、約 5 % のリドカインを含む、請求項 6 に記載の組成物。

## 【請求項 8】

ポリ塩化ビニル、ポリ塩化ビニリデン、ポリエチレン、合成ゴム、ポリエステル織布およびポリエステル不織布からなる群より選択される材料から形成される、前記麻酔薬の上に適用されるのに適切なカバーを含む、請求項 1 に記載の組成物。

## 【請求項 9】

神経障害性陰性知覚症状を処置するための組成物であって、該組成物は、経皮投与に適切な麻酔薬を含み、さらに、生理学的に受容可能な接着剤を含み該陰性知覚症状の部位またはその近くに適用されるのに適切な、約 2 重量 % ～ 10 重量 % のリドカインを含むポリエステル不織布を含む、組成物。

## 【請求項 10】

前記リドカインは、約 5 重量 % で存在する、請求項 9 に記載の組成物。

## 【請求項 11】

患者の皮膚の麻痺を減少させるための組成物であって、該皮膚に、該麻痺の部位またはその近くに適用するのに適切な局所麻酔を含む、組成物。